

特別支援教育だより

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園 教育支援部 発行
令和2年度 第2号（9月25日）

今年の夏は誰にとってもいつもとは違ったものになったのではないのでしょうか。7月から8月にかけて、全国的に第2波とも言える感染者数の増加が見られ、新たな不安を感じることとなりました。また、長引いた梅雨の影響や豪雨による災害があったり、異常気象とも言えるような猛暑日が続いたり、過ごしにくい夏であったことと思います。子どもたちにとっては、長期に渡る休校を取り戻すため夏季休業期間が短縮されました。加えて、県をまたぐ移動の自粛から、楽しみにしていた家族旅行が取りやめになるなど、いつものような夏休みを過ごすことができなかつた子どもたちもいたことと想像します。しかしながら、そんな日常の中で工夫をしながら生活することの大切さを再認識された方々も多かつたのではないのでしょうか。「with コロナ」の言葉をたびたび耳にするようになりましたが、今いる環境の中で、最大限の配慮をしながらも子どもたちが生き生きと過ごすことができるような手立てを講じる必要があります。日常の中にある一コマを取り上げ、小さくても大切な何かに気付くことは素晴らしいことです。

また、支援が必要な子どもたちだけでなく、どの子も少なからず不安を抱えているということをお忘れはいけません。そこに気づき、少しでも不安を取り除くことができれば、子どもたちの生活は豊かなものになってくることでしょう。普段からアンテナを高くしておけるよう、心がけていきたいですね。

さて、前年度の支援だよりでは「ほめる」ことについて書きましたが、意識して「ほめる」ことを実践されていますか。洗練させることが難しい技術であるといわれていますが、もうすでに熟達の域にいる先生方もいらっしゃる、その極意を伝授していただきたいものです。釈迦に経となつてしまい恐縮ですが、今回はほめ方のポイントについて書きたいと思います。

ほめ方のポイント

ほめることが大切であるとは言うものの、ただ闇雲にほめればよいというわけではありません。フィードバックを受ける側の子どもが「ほめられた」と感じなければ、効果的とは言えないでしょう。1つ目のポイントは具体的であるということです。もちろん、子どもの行動に対して即座に「いいね」と端的に声をかけることが有効でないわけではありません。何がどのようによかつたかということ具体的にほめるということは、子どもにとって次の行動の指針になる可能性があります。また、支援を必要とする子どもたちにとっては、例えば「話す人の方を向いて聞けていたことがよ

かった」というように、直前の自身の行動を振り返ることにもつながり、よかったところを学ぶことができるでしょう。

具体的にほめるということは、子どもの行動をよく観察する必要があります。その中からほめたい子どもの行動を選択的に取り上げます。それが2つ目のポイントになります。不適切な行動に目がいきやすいということが指摘されていますが、意図的にほめるところを見つけるようにします。子どもにとっては、自分のよいところを積極的に認めてくれる先生に信頼感を持つこととなるでしょう。ポジティブなフィードバックをするという能動的な取り組みは、子どもの見方が大きく変わることににつながるように思います。

3つ目のポイントは、ほめる際の基準にあります。それは、その子どもにとって現実的に期待できるかどうかということです。例えば、頻繁に離席を繰り返す子どもに「1時間ずっと座っていること」ができたならほめようなどと考えていたら、ポジティブな働きかけができる場面はなかなか訪れないように思います。「10分も座っていられた」「昨日よりも頑張っていたね」とほめることをためらう必要はありません。子ども一人ひとりによって課題が違うわけですから、その場面ごとに子どもが達成することができる頑張りを見つけることが大切なのです。そのように考えると、指示の出し方にも配慮が必要であることに気づくでしょう。同時处理的に指示を理解して行動できる子ばかりではありませんから、不可能な指示を出さないような配慮が必要です。指示に従って行動するとほめられるという経験を積み上げることが大切なのです。

以上のように、ほめ方のポイントについて整理してお伝えしました。特に、支援を必要とする子どもたちは行動の因果が外的になりがちです（禁止や制止など）。本来、意思決定においては「楽しそう」「やってみたい」といった感情によってなされるのが理想的なわけですから、その生起においては教員のポジティブなフィードバックが大切な要因になると考えられます。そのことを踏まえた子どもとの関わりに留意する必要があるでしょう。きっと、子どもの変容を目の当たりにすると、その効果は一目瞭然です。

参考：こころの科学 No. 196

(文責 清都)

今後の予定

小学部公開体験授業 10/16(金)

中学部公開体験授業 10/26(月)



※今年度のつばさ祭りですが、外部の方は参加できません。ご了承ください。